

『真宗大谷派 儀式軌範』訂正・追記箇所

標記の書籍中、以下の部分に誤字、錯誤及び表現に詳細を欠く部分がありました。謹んでお詫びを申し上げますとともに、訂正、追加をさせていただきます。

本廟部 儀式指導研究所

(一) 三二頁「3 内仏について」中二行目、「場所すべてを指す。」の後に「上卓を置けない御本尊前の荘嚴は

祖師前に準ずる。」を追記。

(二) 三三頁「香炉」中四行目

誤「火舎香炉は、中尊前のみで使用する」↓

(三) 五二頁 一行目「消すときは逆の順である」↓ 削除

(四) 同 二行目「外側から中心へ行う。」の後に

「なお御本尊のみの内仏の灯明は、右側左側の順に点灯する」を追記。

(五) 六七頁 五行目 誤「四言二句」↓ 正「五言四句」

(六) 七八頁 (舌々)の次行「歸命無量壽如來」↓ 削除

(七) 八〇頁 (八淘) 二重「解脱の光輪きはもなし」中、

「し」の節譜(タタキ)と節譜(モツ)の間に「△」を追記  
九七頁 四行目

誤「なお法要の始まりの総礼では静かに合掌する。」↓  
正「また、法要での総礼の時は、高声に称えて法要儀式を妨げることがあってはならない。」

(九) 一一五頁 左側「袍裳(前)」の写真。前身頃の合わせ方が逆になっている

(十) 一二四頁「坊守章について」中、一行目の前に「坊守章については、以下のように定められている。坊守

籍簿に登録された者は、坊守章を依用することができ  
る。(寺院教会条例施行条規第三十四条…坊守章)」を  
追記

(一一) 一四〇頁 七行目

誤「登高座 伽陀五章 淘十」↓

正「登高座 伽陀五章」

(一二) 一四五頁 一行目

誤「登高座 伽陀五章 淘十」↓

正「登高座 伽陀五章」

(一三) 一四八頁 七行目

誤「五帖目第十一通」↓ 正「五帖目第十通」

(一四) 一六四頁 八行目「焼香有之」の続きに「。仏供前備

を追記

(一五) 一七七頁 六行目「正信偈 真読」の続きに「又は中

拍子」を追記

(一六) 一七九頁 一二行目「焼香有之」の続きに「。仏供前備

を追記

(一七) 一八一頁 一五行目「焼香有之」の続きに「。仏供前備

を追記

(一八) 一八八頁 五行目 誤「念讚淘二」↓ 正「念仏讚淘二」

(一九) 同 六行目 誤「念讚三淘」↓ 正「念仏讚淘三」

(二〇) 二二二頁 九行目

誤「淘五または五三」↓ 正「淘五三」